

こぼれ話

コロナ、コロナで事実上「外出自粛」が続く、生活のパターンが崩れている。毎朝ジョギングをする方もこれまでと違うのは、マスクをつけて歩くことだ。妻「早朝誰もいない閉伊川沿いを走るのに、マスクが必要だすか？」「俺もそう思うけども：調子が狂うが」等々。

ある還暦過ぎの女性はそんな日常を少し変革しようとして友人3人で夜の街へ。彼女は遅れて家を出たが「あれっメガネを忘れた！」と気づき、自転車をUターンさせ家にメガネを取りに引き返した。するとあわえこにパトカーが。若い警察官は「なんでパトカーを見てUターンしたの？」と詰問した。「えっメガネを忘れたので取りに戻ったのす」と答えた。が若い警察官は「夜の街にメガネが必要か？」と疑いの目をしている。「メガネがないと字がめえねえの(「歌えないの」)。疑念の目は変わらさず！

わが家の一品

【ナスのバター入り焼き】
 「材料」ナス、バター、めんつゆ、
 「つくり方」夏野菜主品のナスが毎日畑で収穫出来ています。このナスはどんな料理にも合いとても重宝しています。最近テレビの料理番組で、



このナスを皮をむかず調理すればナス本来のkokoroの味を盛りどうぞ。
 (田鎖/K・S)

市税支払猶予

収入が概ね2割減の場合、一年間支払を猶予できる制度が、ただし「申請する」が基本です

国の新型コロナウイルス対策に開く税の徴収猶予特例が4月30日から施行されています。

徴収猶予の対象は
 ● 新型コロナウイルスの影響で今年2月以降の任意の月の収入が前年同月比で概ね20%以上減少している。
 ● 一時に納税することが困難であること。

対象となる税目はなに？
 ● 今年2月から令和3年1月末までに納期が来る市税の、ほぼすべての税目が対象です。

申請期限は、6月30日
 ● 申請期限は、6月30日以前に納期が来る市税の、7月以降に申請する場合は、納期限までに申請します。

徴収猶予の申請は40件
 ● 申請期限は、6月30日以前に納期が来る市税の、7月以降に申請する場合は、納期限までに申請します。



読者の文芸欄

短歌 金沢邦臣 (田鎖)

● 踏まるなき草はすいと抜かれきて踏まれいる草根張りて抜けず
 ● 穂(ほ)のみの青田を夕風渡りきて昼の暑さの静まりていく
 自注/暑かったり、雨が降ったりで、草取りに難儀しました。前の歌はの中で、あ、やっぱりなと自分なりに納得したことです。

有効求人倍率0.7~0.8台は9年ぶり/厳しさ増す雇用・賃金!

平均賃金/宿泊飲食業は厳しい



ち込みとなっています。産業別新規求人(一般+パート)が前年比で大きく減退

産業別に新規求人数を前年比でみると、●全産業で▼22.7% ●建設業は▼12.2% ●製造業は▼15.3% ●運輸郵便が▼42.6%の大幅減で ●卸小売り37.9% ●医療福祉は▼6.2% ●サービス業は▼1.5%となっています。

平均賃金額が県平均を上回る産業は
 製造業では■食品製造業17万3千円 ■木材・木製品製造(家具の除く)20万1千円 ■金属製品製造21万8千円。さらに卸小売り業20万4千円、また生活関連サービス業が25万円、等が県平均を上回っています。新型コロナの影響で雇止めなどの状況が広がっています。

有効求人倍率は今年になり1倍を割り込む
 大震災の年=平成23年度の有効求人倍率は0.53倍に落ち込みましたが、復旧・復興工事が本格化した24年度は1.04倍になり、昨年10月の1.33倍までは内陸部のそれに並んでいました。

復興事業が収束を迎えて以降は低下し、今年の5月は0.80倍となり、東北6県で一番低い青森県平均の0.9倍に近づいています。

これに新型コロナの影響が加わり、全国的にはGDPは年間換算で27.8%減という戦後最悪の落

市税務課によればこの支払い猶予申請は40件という到達です。

宮古市で7月に新型コロナウイルス感染者が確認されて以降急速に宿泊予約や食堂、居酒屋などの予約キャンセルが広がりました。

「お盆を含めた食事のキャンセルが続き、まるで5、6月の時のようです」「これから、というタイミングでまた第二次というべきキャンセルが集中し愕然としています」「8月は盆を含

市税務課によればこの支払い猶予申請は40件という到達です。

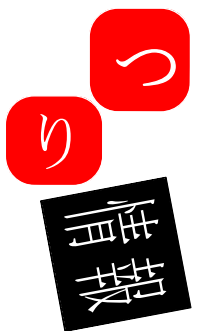
宮古市で7月に新型コロナウイルス感染者が確認されて以降急速に宿泊予約や食堂、居酒屋などの予約キャンセルが広がりました。

「お盆を含めた食事のキャンセルが続き、まるで5、6月の時のようです」「これから、というタイミングでまた第二次というべきキャンセルが集中し愕然としています」「8月は盆を含



「送り盆のあどに安家川さ行って来ればいいがすか」「過ぎさった日は戻らず、か...」。

ダメだ！これえ！



今年のお盆中の釣りは結局お流れとなった。肝心の相棒「埼玉の甥たちが来なかったからである。釣り吉は心にポカッと穴が開いた状態で棚を片付けた。

盆明けのある夜。妻が言った。「おめさんはもぬけの殻だがえ！ガリツとすとがん！本当に！釣りっさ行けなかつたのが心残りすか？情ねえごど！」と気合を入れた。

「別に！そういう訳でねえが」と言ったが全く覇気がない。妻「10月はお母さんの13回忌で、来年1月は娘の結婚式だがえ！ポーとすてる暇はねえがえ」。